

償還 運用報告書（全体版）

第10期<償還日 2023年6月12日>

D I A Mシェール株ファンド

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2013年6月13日から2023年6月12日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	米国およびカナダの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象とします。
運用方法	<p>主として北米（米国・カナダ）のシェールエネルギー関連株式^(※1)への投資を通じて、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。</p> <p>(※1) シェールエネルギー関連株式とは、シェールエネルギーの開発・採掘・運搬、シェールエネルギーの利用等によって恩恵を受けると委託会社が考える北米の金融商品取引所に上場している企業の株式のことをさします。</p> <p>株式のほかにMLP^(※2)へ投資する場合があります。</p> <p>(※2) MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）とは、米国の共同投資事業形態の一種です。当ファンドでは、金融商品取引所に上場しているシェールエネルギー関連のMLPを投資対象とします。</p> <p>個別企業の成長性・財務内容等を調査・分析した上で厳選し、原則として30～50銘柄程度に絞り込んで集中投資します。</p> <p>株式の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p>
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として6月12日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「D I A Mシェール株ファンド」は、この度、信託期間を満了し、償還の運びとなりました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入率 比	株式先物率 比	純資産額
	(分配落) 円	税金 分配 円	騰落 率 %			
(設定日) 2013年6月13日	10,000	—	—	—	—	百万円 4,573
1期 (2014年6月12日)	12,910	1,500	44.1	96.1	—	5,468
2期 (2015年6月12日)	12,186	1,500	6.0	96.8	—	3,304
3期 (2016年6月13日)	8,600	0	△29.4	95.5	—	1,897
4期 (2017年6月12日)	8,873	0	3.2	95.1	—	2,298
5期 (2018年6月12日)	10,550	0	18.9	96.0	—	1,897
6期 (2019年6月12日)	7,845	0	△25.6	96.5	—	1,176
7期 (2020年6月12日)	5,257	0	△33.0	95.7	—	761
8期 (2021年6月14日)	8,089	0	53.9	97.8	—	840
9期 (2022年6月13日)	13,021	0	61.0	93.0	—	1,135
(償還日) 2023年6月12日	(償還価額) 12,188.34	0	△6.4	—	—	632

(注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注3) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注5) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

■当期中の基準価額の推移

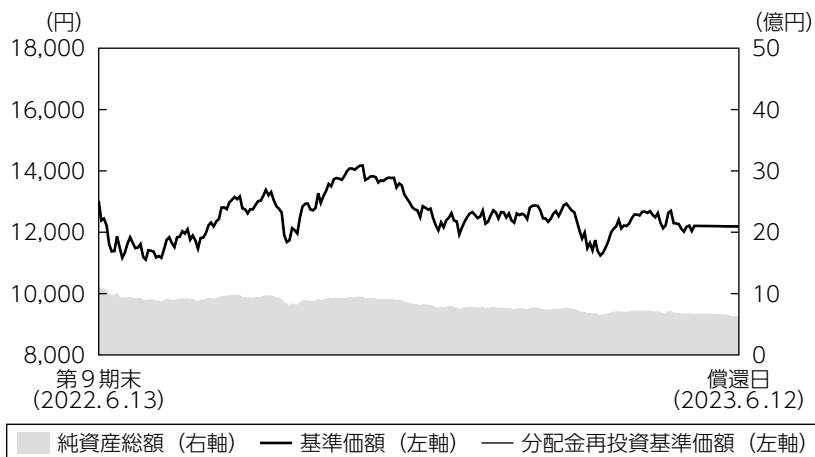
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
(期 首) 2022年 6 月 13 日	円 13,021	% -	% 93.0	% -
6 月 末	11,661	△10.4	96.8	-
7 月 末	11,955	△8.2	97.4	-
8 月 末	12,780	△1.9	97.2	-
9 月 末	12,071	△7.3	97.6	-
10 月 末	13,992	7.5	97.0	-
11 月 末	13,588	4.4	97.4	-
12 月 末	12,354	△5.1	97.2	-
2023年 1 月 末	12,482	△4.1	97.4	-
2 月 末	12,689	△2.5	96.7	-
3 月 末	12,107	△7.0	98.7	-
4 月 末	12,228	△6.1	99.3	-
5 月 末	12,198	△6.3	-	-
(償還日) 2023年 6 月 12 日	(償還価額) 12,188.34	△6.4	-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率は、買建比率－売建比率です。

■設定以来の運用経過（2013年6月13日から2023年6月12日まで）

第10期の基準価額等の推移



第10期首： 13,021円
償還日： 12,188.34円
（既払分配金0円）
騰落率： △6.4%
（分配金再投資ベース）

- （注1）分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- （注3）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- （注4）当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の変動要因

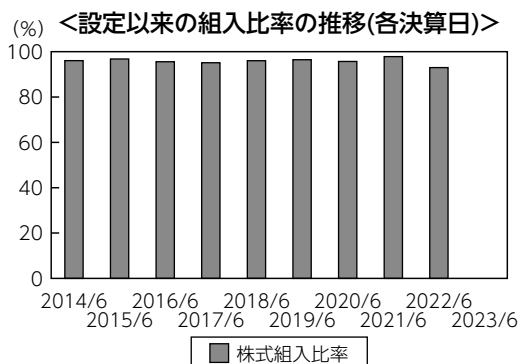
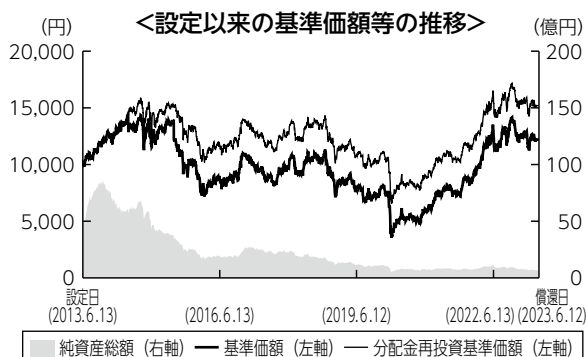
当期は、中国での新型コロナウイルス再拡大や米国での金融引き締めなどをうけて、世界的な景気減速・原油需要低下懸念の高まりなどを背景に原油価格が期を通じて下落基調となる中、エネルギー関連銘柄を中心に保有銘柄の株価が下落したことが主要因となり、基準価額は下落しました。

設定来では、変動性が高い展開が継続したものの、期を通じて外国株式市場全体が緩和的な金融政策や堅調な経済環境などに支えられて上昇する中、保有銘柄についても株価が上昇したことが主要因となり、基準価額は上昇しました。また、為替市場における米ドルを中心とした主要国通貨に対する円安の進行もプラス要因となりました。

設定来の投資環境

設定から2017年の局面では、緩和的な金融政策や堅調な経済環境に支えられて、米国を中心に外国株式市場は堅調な展開となりました。2018年に入り、米中貿易摩擦問題や中国景気を巡る減速懸念、米金利上昇などが嫌気され軟調な展開となりましたが、2019年以降は米金融政策の緩和などを受けて、反発しました。2022年から期末にかけては、世界的なインフレ高進、金融政策の引き締め懸念などが重石となり下落基調となる中、変動性の高い展開が継続しました。

為替市場では米ドルを中心とする主要通貨に対して円安が進行しました。設定から2015年の局面では、日米間での金融政策の方向性の違いから大幅に円安が進みました。その後2016年に入り、世界的な景気減速懸念や地政学的リスクの高まりなどから円高が進行する局面も見られましたが、2017年以降は比較的安定したレンジ圏での推移となりました。しかしながら2022年以降は、米国を中心に金融政策の引き締めが行われる中で、急速に円安が進行しました。



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。

(注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

(注) 組入比率は純資産総額に対する割合です。

設定来のポートフォリオについて

2015年までの原油価格の下落局面では、シェールエネルギー関連銘柄の中でも、原油価格の下落の恩恵が期待される利用関連の銘柄の組入比率を引き上げました。その後の原油回復局面では、開発・採掘系のウェイトを引き上げましたが、2020年のコロナショック以降は、原油市場の先行き不透明性の高まりを考慮し、資金繰りやバランスシートの質の高い銘柄を中心に銘柄を選別し、慎重なポートフォリオ運営を継続しました。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第10期		項目の概要
	(2022年6月14日 ～2023年6月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	214円	1.711%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,491円です。
(投信会社)	(103)	(0.823)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(103)	(0.823)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(8)	(0.066)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	14	0.108	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(14)	(0.108)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(d) その他費用	20	0.159	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(20)	(0.157)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	247	1.980	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

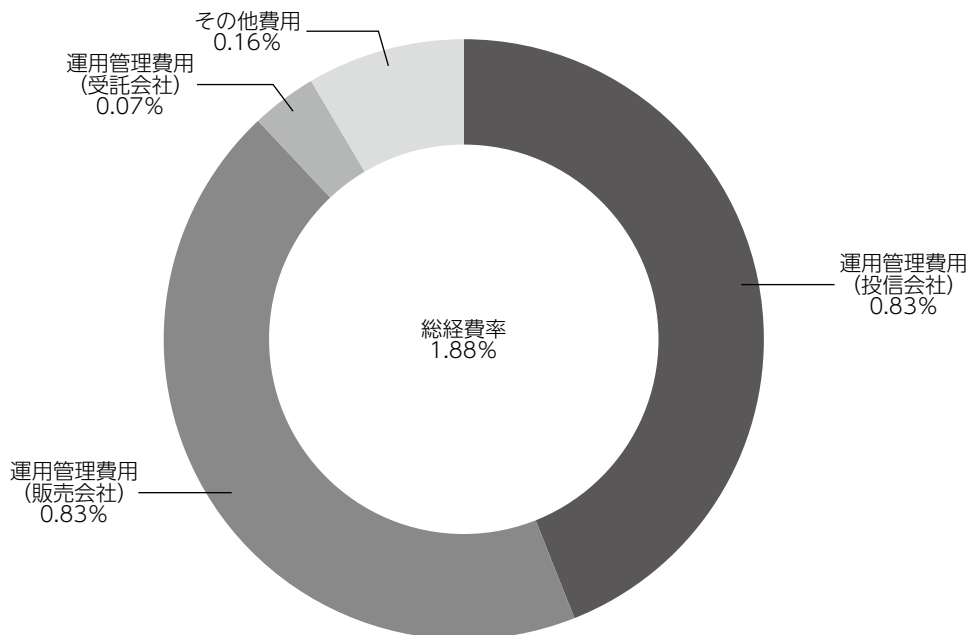
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況 (2022年6月14日から2023年6月12日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	ア メ リ カ	百株 6.47 (-)	千アメリカ・ドル 48 (-)	百株 835.32	千アメリカ・ドル 6,200
	カ ナ ダ	百株 - (-)	千カナダ・ドル - (-)	百株 142.15	千カナダ・ドル 1,230

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) () 内は、株式分割、増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	996,171千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	811,812千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.22

(注) (b)は各月末の組入株式時価総額の平均です。

■利害関係人との取引状況等 (2022年6月14日から2023年6月12日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期 区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B / A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D / C
金 銭 信 託	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0	百万円 0.000	百万円 0.000	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ信託銀行です。

■組入資産の明細

償還時における有価証券の組入れはありません。前期末の組入れは以下の通りでした。

外国株式

銘 柄	期首(前期末)		業 種 等
	株	数	
(アメリカ)	百株		
VALERO ENERGY CORP	8.95	石油・ガス・消耗燃料	
ONEOK INC	12.61	石油・ガス・消耗燃料	
CSX CORP	71.49	陸上運輸	
COTERRA ENERGY INC	45.4	石油・ガス・消耗燃料	
ATMOS ENERGY CORP	26.11	ガス	
EOG RESOURCES INC	33.41	石油・ガス・消耗燃料	
EXXON MOBIL CORP	55.2	石油・ガス・消耗燃料	
HALLIBURTON CO	26.79	エネルギー設備・サービス	
DEVON ENERGY CORP	41.18	石油・ガス・消耗燃料	
SPIRE INC	9.26	ガス	
NORFOLK SOUTHERN CORP	8.82	陸上運輸	
CHENIERE ENERGY INC	32.03	石油・ガス・消耗燃料	
CONOCOPHILLIPS	35.36	石油・ガス・消耗燃料	
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	18.74	石油・ガス・消耗燃料	
SCHLUMBERGER LTD	23.05	エネルギー設備・サービス	
CHEVRON CORP	27.51	石油・ガス・消耗燃料	
UNION PACIFIC CORP	11.87	陸上運輸	
WILLIAMS COS INC	78.28	石油・ガス・消耗燃料	
WESTLAKE CORP	19.3	化学	

銘 柄	期首(前期末)		業 種 等
	株	数	
(アメリカ)	百株		
MARATHON PETROLEUM CORP	13.38	石油・ガス・消耗燃料	
KINDER MORGAN INC/DELAWARE	88.68	石油・ガス・消耗燃料	
LYONDELLBASELL INDUSTRIES NV	30.96	化学	
PHILLIPS 66	9.8	石油・ガス・消耗燃料	
DIAMONDBACK ENERGY INC	16.84	石油・ガス・消耗燃料	
DOW INC	50.97	化学	
ONE GAS INC	32.86	ガス	
小 計	株 数	828.85	
	銘 柄 数	26銘柄	
(カナダ)	百株		
CANADIAN NATL RAILWAY CO	24.93	陸上運輸	
ENBRIDGE INC	51.69	石油・ガス・消耗燃料	
CANADIAN PACIFIC KANSAS CITY LTD	36.9	陸上運輸	
TC ENERGY CORP	28.63	石油・ガス・消耗燃料	
小 計	株 数	142.15	
	銘 柄 数	4銘柄	
合 計	株 数	971	
	銘 柄 数	30銘柄	

■投資信託財産の構成

2023年6月12日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 638,303	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	638,303	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年6月12日)現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	638,303,805円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	638,303,805
(B) 負 債	6,231,726
未 払 解 約 金	38
未 払 信 託 報 酬	6,230,589
未 払 利 息	1,099
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	632,072,079
元 本	518,587,429
償 還 差 損 益 金	113,484,650
(D) 受 益 権 総 口 数	518,587,429口
1万口当たり償還価額(C / D)	12,188円34銭

(注) 期首における元本額は871,996,139円、当期中における追加設定元本額は89,304,224円、同解約元本額は442,712,934円です。

■損益の状況

当期 自2022年6月14日 至2023年6月12日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	23,622,619円
受 取 配 当 金	23,487,133
受 取 利 息	170,260
支 払 利 息	△34,774
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△49,170,831
売 買 益	73,373,143
売 買 損	△122,543,974
(C) 信 託 報 酬 等	△15,464,167
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	△41,012,379
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	137,445,357
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	17,051,672
(配 当 等 相 当 額)	(87,252,096)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△70,200,424)
(G) 合 計(D + E + F)	113,484,650
償 還 差 損 益 金(G)	113,484,650

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年6月13日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2023年6月12日		資産総額	638,303,805円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	6,231,726円
				純資産総額	632,072,079円
受益権口数	4,573,491,685口	518,587,429口	△4,054,904,256口	受益権口数	518,587,429口
元本額	4,573,491,685円	518,587,429円	△4,054,904,256円	1万口当たり償還金	12,188円34銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	4,235,827,459円	5,468,589,063円	12,910円	1,500円	15.00%
第2期	2,712,125,750	3,304,953,294	12,186	1,500	15.00
第3期	2,206,558,305	1,897,591,545	8,600	0	0.00
第4期	2,590,695,584	2,298,728,132	8,873	0	0.00
第5期	1,798,523,808	1,897,496,760	10,550	0	0.00
第6期	1,500,155,410	1,176,816,335	7,845	0	0.00
第7期	1,447,790,007	761,098,621	5,257	0	0.00
第8期	1,039,552,210	840,925,459	8,089	0	0.00
第9期	871,996,139	1,135,436,944	13,021	0	0.00

償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	12,188円34銭
----------------	------------

償還乗換えの優遇措置の適用について

当ファンドの償還金をもって他の証券投資信託をお求めになる場合には、購入時手数料のうち所定の額を返戻または割引く措置の適用を受けられる場合があります。優遇措置の適用は販売会社によって異なりますので、詳しくは取扱販売会社までお問い合わせ下さい。